

各 位

会 社 名 シーシーエス株式会社
(URL <http://www.ccs-inc.co.jp/>)
代 表 者 名 代表取締役社長 米田 賢治
(JASDAQ・コード 6669)
問 合 せ 先 管理本部長 河嶋 良和
(TEL: 075-415-8280)

植物育成実験プラント閉鎖および譲渡ならびに 株式会社フェアリーエンジェルとの業務提携に関するお知らせ

シーシーエス株式会社（以下、シーシーエス）は、平成19年9月13日開催の取締役会において、下記のとおり、植物育成実験プラントを閉鎖および譲渡を行い、株式会社フェアリーエンジェル（以下、フェアリーエンジェル）との間で、LED光源を活用した葉菜類の育成事業に関する業務提携を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 閉鎖の理由

シーシーエスは、農業用途でのLED照明の応用に着目し、植物育成実験プラント開設し、植物工場の採算性の実証を目的として、実用化に向けた研究およびノウハウの蓄積を進めてまいりました。また、その過程におきまして、無農薬・無菌状態で栽培されたレタス、サンチェ、グリーンリーフ等の葉菜類を代理店に販売を行ってまいりました。

このたび、葉菜類の栽培ノウハウの蓄積、事業の採算性についても一定の分析結果が得られたため、植物育成実験プラントの役割は終えたものと判断し、それに伴い当社における植物事業の位置付けを見直しました結果、植物実験プラントで得られたノウハウを生かしたLEDを使った葉菜類の育成パネルの実用化に向けた研究開発に専念することといたしました。

今後は、LED照明パネルの性能を向上させ、農業用照明の開発に注力いたします。

2. 閉鎖の内容

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| (1) 閉鎖の対象 | CCS植物育成実験プラント |
| (2) 所在地 | 千葉県野田市 |
| (3) 延床面積 | 約850㎡ |
| (4) 竣工および稼動 | 平成17年6月 |
| (5) 帳簿価額 | 1億6千万円 |
| (6) 人員 | 25名 ※基本的には、フェアリーエンジェルへ移籍する予定です。 |

3. 譲渡の理由

植物育成実験プラント閉鎖に伴い、保有の目的がなくなったことから、プラントの設備全体をフェアリーエンジェルに譲渡いたします。

4. 譲渡の内容

- | | |
|-----------|----------------|
| (1) 譲渡の対象 | CCS植物育成実験プラント |
| (2) 所在地 | 千葉県野田市 |
| (3) 帳簿価額 | 1億6千万円 |
| (4) 譲渡価額 | 1億6千万円 |
| (5) 譲渡先 | 株式会社フェアリーエンジェル |

5. 業務提携の理由

シーシーエスは、植物育成実験プラントで得られたノウハウを生かしたLEDを使った葉菜類の育成パネルの実用化に向けた研究開発に専念する方針であり、植物工場を手がけて葉菜類を販売するフェアリーエンジェルとLED光源を活用した葉菜類の育成事業に関する業務提携を行うことで、当社における商品の開発に役立てることを目的とします。

6. 業務提携の内容

シーシーエスおよびフェアリーエンジェルは、クリーンルームとLED光源を活用した「先進的野菜生産技術」の確立と事業化を目的として、業務提携を行います。当社は、LEDを使った葉菜類の育成パネルの実用化を進め、フェアリーエンジェルは、自社が保有する植物工場の環境でシーシーエスのLED照明パネルを使用して野菜栽培実験を行います。

具体的な内容につきましては、平成19年10月31日までに双方で協議を進めてまいります。

なお、シーシーエスとフェアリーエンジェルの間には支配・従属関係はありません。

7. 譲渡先および業務提携先（株式会社フェアリーエンジェル）の概要

- (1) 名 称 株式会社フェアリーエンジェル
- (2) 主な事業内容 無農薬野菜工場、野菜販売事業、飲食事業、生花販売事業
- (3) 設立年月日 2005年5月24日
- (4) 本店所在地 京都府京都市北区
- (5) 代表者 代表取締役社長 江本 謙次
- (6) 資本金の額 2億6,500万円（2007年8月31日現在）
- (7) 従業員数 70名
- (8) 大株主構成および持株比率（2007年8月31日現在）

株主名	所有株式数	発行済株式総数に対する所有株式数の割合
米田 賢治	9,005株	100%

- (9) 株式会社フェアリーエンジェルとの関係

資本関係および人的関係はありません。

取引関係に関しましては、植物育成実験プラントで栽培した葉菜類の販売を委託しておりました。

8. 日程

- 平成19年9月13日 取締役会
 平成19年9月13日 譲渡契約書締結
 平成19年9月13日 業務提携に関する基本合意書締結
 平成19年10月31日 業務提携契約書締結（予定）

9. 今後の見通し

閉鎖および譲渡ならびに業務提携の業績（連結・単独）に与える影響は織り込み済ですので、影響はありません。以下のとおり、平成19年9月13日発表の「平成19年7月期 決算短信（連結）」および「平成19年7月期 個別財務の概況」に変更ありません。

- (1) 閉鎖および譲渡ならびに業務提携後の連結業績見通し

	平成19年7月期の連結業績	平成20年7月期の連結業績予想
連結売上高	5,185百万円	6,200百万円
連結営業利益	710百万円	790百万円
連結経常利益	721百万円	770百万円
連結当期純利益	431百万円	470百万円

- (2) 閉鎖および譲渡ならびに業務提携後の単独業績見通し

	平成19年7月期の単独業績	平成20年7月期の単独業績予想
売上高	4,504百万円	5,300百万円
営業利益	623百万円	650百万円
経常利益	625百万円	640百万円
当期純利益	366百万円	390百万円
1株当たり年間配当金	2,000円00銭	2,000円00銭

以上